

# 文化・芸術の振興と ボトムアップで 心豊かな守谷市へ。

地域に生きる普通の  
ひとたちのアリティが大事。

**【小菅勝彦プロフィール】**1964年生まれの現在59歳。守谷市出身で、高野小学校、守谷中学校、取手一高、市川音楽専門学校を卒業。地元の事務機器販売会社に就職し、約32年間サラリーマン生活。趣味はサックスを吹くことと、鹿島アントラーズを応援すること。その応援でスタジアムで出会ったパートナーと、母、妹の4人で高野に在住。



質問や意見や要望など皆様の声を小菅勝彦にお寄せください。切手を貼らずにお出しになれます。

## 守谷市 まちの声

●現在困っていること、現在関心のあるものをチェックして下さい。

- 医療  高齢者福祉  障害者福祉  子育て  
 保育園  教育  公園  動物愛護  景観  
 文化・アート  ボランティア活動  男女共同  
 ごみ問題  道路整備  環境問題  農業  
 防災  コミバス&デマンドタクシー  空家対策  
 その他( )

●自由に、ご意見をお聞かせ下さい。

↓ 皆様の声をお聞かせ下さい!

### こんな活動をしています

- ・いばらき原発県民投票の会
- ・東海第二原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟幹事
- ・土地規制法を廃止にする自治体議員団
- ・戦争いやだ平和がいいネ守谷市民の会
  - ・守谷市動物愛護協議会
  - ・ウインドアンサンブル守谷



小菅勝彦事務所 〒302-0125 守谷市高野 5067-2

TEL:070-3848-4638 FAX:0297-48-7997

Kosugekatsu.office@gmail.com



HP



LINE

<https://kkosuge.com/>

それぞれの“生きる”に寄り添う守谷市政へ。

守谷市議会議員 小菅勝彦 活動報告

**UNISON** vol.6 立憲民主党 2024年1月号



KKatsuhico [f](#) katsuhico.kosuge

\*UNISON(ユニゾン)は、みんなで同じ音や旋律を奏でる音楽用語です。

12月最後的一般質問から

## それぞれの“生きる”に寄り添う守谷市政へ。

子どもたちが、ふたたび遊べる川を思い浮かべながら、私たちに何ができるのか、市民と共に考え続けたい。

古城川を、知らない方も多いと思いますが、プランチ守谷北側に渓谷のように流れている川のことです。私が子どもの頃に、よく遊んだ川です。

開発により、盛り土することで川を深くし、自然石で景観形成した、プロムナード水路です。とても素敵な川として現在に至ります。

ところが、2011年の福島原発事故を受けて、放射能が降り注いだホットスポットとなりました。川ということで除染もできず、現在も放射線の数値は、国の基準である0.23マイクロシーベルト(年2回計測)を超え、立ち入り禁止となっています。

私は、今期最後の質問で、この「立ち入り禁止」の川という存在を、今後どうしていくか?子どもたちがふたたび遊べる川に、市民の憩いの場として利用できるのかどうかを質問しました。

市は、東京電力や国と交渉をすることもむずかしいし

く、川の除染ということも確立していない状態で、現在のところ時間が経つのを見守りたいとの答弁でした。

はたして、それでいいのでしょうか?大きな問題ですが、子どもの時に遊んだ川や山という自然は、大人になっても大切なものです。私は、立ち入り禁止になっている状態を、そのままにしておくのではなく、「暮らしやすい守谷」を基本に、子どもたちが再び遊べる川を取り戻すために、市民と共に考えていきたいと発言しました。

この問題は、守谷市のまちづくり、暮らしやすさ、環境問題、原発問題、子育て問題など多くのことが含まれる問題です。親しみやすい川が「立ち入り禁止」となっている現実を認識し、引き続き、それぞれの“生きる”に寄り添いながら、「まちづくり」「暮らしやすい守谷」を市民と共に考え続けていきたいと思います。



## 9月議会 一般質問から

<令和4年度の決算額> 9月議会は「決算」が大きな議案です。

歳入が357億9,563万719円で、前年度対比は12億2,755万4,268円の増額(3.6%)、  
歳出が317億5,011万4,509円で、前年度対比は1億7,480万3,732円の増額(0.6%)  
歳入歳出差引額は40億4,551万6,210円であり、前年度対比は10億5,275万536円の増額(35.2%)

## DXの先進国

### デンマーク王国への海外視察について

守谷市の掲げるDX戦略に興味と大きな希望を持っており、この視察にも大変期待しており質問をした。

**市長公室次長**: デンマーク王国は、DXの先進国であり、教育や福祉、医療制度が充実し、環境施策やエネルギー施策も図られ、世界幸福度ランキング2位の国である。市では、2011年11月に両者が有する技術、知見、経験の共有・交換を促進することにより、相互の発展に寄与することを目的として、デンマーク王国の駐日大使館と覚書を締結した。このようなことから、赴き、肌で感じることが極めて有効であることから現地視察を行った。

日程は、6月17日から同月22日まで

の4泊6日。内容は、コペンハーゲン市庁舎及びデジタル関連会社を訪問、市におけるデジタル化の発展の歴史やデジタル化における行政の役割などの視察。他に、市内の老人ホーム、ゴミ処理施設等を訪問し、デジタル技術の活用事例などを視察した。参加者は、公費負担として、市長と市職員2名、議会から2名の計5名、自己負担で民間事業者等の計4名で、総数9名である。

**小菅**: 視察に要した総額はいくらであったか。その内訳及び支出予算はどうになっているか。

**市長公室次長**: 公費負担の総額は、5名分で約350万円。内訳は、渡航

費用として航空賃等で約137万円、現地経費としてホテル・通訳等で約192万円、その他、海外旅行保険料等で約21万円となる。

以上から、5名分航空運賃で約137万円、一人当たり往復約274,000円。総額一人当たり約700,000円の計算。予算は企画課所管で、企画政策所務事務費からの支出となり、航空運賃から見て、贅沢なシートを使用しての海外視察ではないが、気になる所は、正副議長が同時に参加していること。万が一のことを考え正副と2人体制になっている訳で、どちらか一人の参加で良かったのではないかと思う。

## SNSで積極的に発信を シティプロモーションについて

Web、YouTube、Facebook、Xについて、それぞれの役割を決めて積極的にアピールするために、その効果について尋ねた。発信することからリターンとして市民の声を聞くことが可能になると思われ、その積極的な活用を促した。



## 新たな避難先候補に 「常総運動公園」と「開智学園」

### 東海村広域避難について

守谷市は東海村からの避難場所になっているため、3月議会でも質問をしたが、東海村との会議が5月25日に行われたことを受けて再度質問した。茨城県と東海村、受け入れ先の守谷市・取手市・つくばみらい市の担当者で行われ、一人当たりの避難面積が2平米から3平米以上になったことから、新たな受け入れ先の検討が行われた。「常総運動公園」「開智学園」が候補地として調整中とのことがわかった。

## 6月議会 一般質問から

## 歩道が危険!! 街路樹の根上がり対策

### 市道街路樹について

街路樹は種類は16種あり、5300から5400の植栽があることはわかった。植栽升が根っこで盛り上がり、舗装や縁石を押し上げた危険な場所があり、適正な管理を求めた。



## 3月議会 一般質問から

## 一人当たりの避難面積が 2平米→3平米以上に

### 東海村広域避難訓練について

東海村からの避難訓練が2022年10月に、本来の避難場所でない常総運動公園で行われた。避難の一連の流れが目的だが、実際の避難場所ではない場所の選定はいかがなものか。避難に必要な物資は東海村と県が行い、守谷市は受入等の事務処理となる。問題点として避難所開設の訓練も必要という課題が出た。また、避難所の環境や感染症対策で、一人当たりの面積が2平米から3平米以上に令和3年度に変更になり、避難人数5199人の受け入れに対して、15カ所では、4400人となり、新しい受け入れ場所の確保を調整中であるとのこと。

## 運転手不足～ 自動運転の小型バスの導入を 地域公共交通について

タクシー会社の運転手の不足などもあり、モコバスの今後も心配される。境町では自動運転の小型バスが3台運行し、常陸太田市でも自動運転バスの実証実験が始まるとの動きがある。守谷市では新しい開発があり、新たな交通網を考えなければならないので、自動運転も視野に入れることを提案した。市長の答弁では、近い将来には利便性や効率性を考えながら導入する時期が来ると思うが、今の段階での構想はないようだ。



郵便はがき

料金受取人払郵便
守谷局承認
5031

差出有効期間  
2025年11月13日まで  
切手を貼らずに  
おだしください。

3020190

(受取人)

守谷市高野5067-2

小菅 勝彦 後援会 行

地域 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳代

差し支えなければご連絡先をご記入下さい。  
報告やお知らせ等をお送りします。

お名前

ご住所

お電話